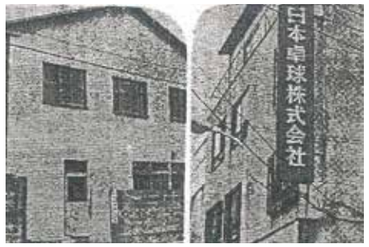
NITTAKU BALL HISTORY

日本卓球界の歴史は卓球ボールから始まりました。



1947 卓球専門メーカーとして事業開始

1947 ニッタクニュース創刊

1988 ラージボールの研究開発に尽力

2001 40ミリ初の世界卓球、使用球

2013 世界初プラスチックボール発表会

2017 最新鋭ボール工場「NECO'S」設立

1920（大正9年）日本で五輪開催　ニッタクは**創業100周年**を迎える

1947（昭和22年）「天皇杯・皇后杯　平成30年度全日本卓球選手権大会（一般・ジュニアの部）」使用球に選ばれる

1971（昭和46年）「天皇杯・皇后杯　平成29年度全日本卓球選手権大会（一般・ジュニアの部）」使用球に選ばれる

1975（昭和50年）北米最大の国際大会「USオープン」使用球に選ばれる

1979（昭和54年）世界の大学スポーツの最高峰「ユニバーシアード」使用球に選ばれる

1981（昭和56年）伝統の「ITTFヨーロッパ選手権（2014～2019）」使用球に選ばれる

1983（昭和58年）「世界選手権」デュセルドルフ大会」使用球に選ばれる

1985（昭和60年）「アジア選手権」使用球に選ばれる

1987（昭和62年）最新鋭のマシンを備えた古河ボール工場（NECO'S工場）設立

1988（昭和63年）設立70周年を迎える（7月15日）

1991（平成3年）「ヨーロッパ選手権 2016-2019」使用球に選ばれる

1992（平成4年）「東京選手権」使用球に選ばれる

1993（平成5年）「アジアベテラン大会 ホーチミン市大会」使用球に選ばれる

1995（平成7年）「アジアカップ ジャイプール大会」使用球に選ばれる

1996（平成8年）「ワールドチームカップ ドバイ大会」使用球に選ばれる

1997（平成9年）「女子ワールドカップ 仙台大会」使用球に選ばれる

2000（平成12年）「全米国内選手権ラスベガス大会」使用球に選ばれる

2001（平成13年）「ヨーロッパ選手権リスボン大会」使用球に選ばれる

2002（平成14年）プラスチック製 硬式球「プラ3スタープレミアム」を開発

2003（平成15年）ITTFから3月25日、日本卓球協会から4月17日に公認を取得する

2004（平成16年）「ワールドチームクラシック広州大会」使用球に選ばれる

2005（平成17年）プラスチック製ラージボール「ラージボール44プラ3スター」を開発

2007（平成19年）日本卓球協会の公認を取得（8月19日）、発売（12月15日）へ

2010（平成22年）月刊卓球雑誌「ニッタクニュース」が創刊以来、第700号を迎える（2月号）

2011（平成23年）「第30回オリンピック ロンドン大会」使用球に選ばれる

2012（平成24年）ボールの素材をセルロイドからプラスチックに変更へ　国際ルールで決定

2013（平成25年）「ワールドチームカップ マグデブルグ大会」使用球に選ばれる

2014（平成26年）「ワールドチームカップ ドバイ大会」使用球に選ばれる

2015（平成27年）本社を上野池之端七軒町から神田和泉町へ移転　地下1階に卓球場を完備

2016（平成28年）「第48回世界選手権上海大会」使用球に選ばれる

2017（平成29年）「第47回世界選手権ドーハ大会」使用球に選ばれる

2018（平成30年）ボール製造工場を、東京都荒川区から茨城県古河市へ全て移転

2019（平成31年）ボール製造工場を、東京都荒川区から茨城県古河市へ一部移転

2020

「第46回世界選手権大阪大会」使用球に選ばれる

ボールが38ミリから40ミリに変更へ　国際ルールで決定

「第44回世界選手権マンチェスター大会」使用球に選ばれる

月刊卓球雑誌「ニッタクニュース」が創刊以来第500号を迎える（6月号）

「第42回世界選手権イエテボリ大会」使用球に選ばれる

「第25回オリンピック バルセロナ大会」使用球に選ばれる

「第41回世界選手権千葉大会」使用球に選ばれる

第24回オリンピック ソウル大会が開催され硬式卓球が正式種目に採用

ラージボール卓球が誕生

月刊卓球雑誌「ニッタクニュース」が創刊以来、第400号を迎える（2月号）

「第39回世界選手権ニューデリー大会」使用球に選ばれる

「第38回世界選手権イエテボリ大会」使用球に選ばれる

「第37回世界選手権東京大会」使用球に選ばれる

「第36回世界選手権ノビザド大会」使用球に選ばれる

「第35回世界選手権 ピョンヤン大会」使用球に選ばれる

「第33回世界選手権カルカッタ大会」使用球に選ばれる

「第31回世界選手権名古屋大会」で初の世界選手権使用球に選ばれる

月刊卓球雑誌「ニッタクニュース」を創刊する（10月）

ニッタクブランドの卓球ボールを「尾久工場・堀切工場」の2ヶ所で製造

「ハーター商会」から「日本卓球株式会社」に社名変更　卓球専門メーカーとして事業を開始する

卓球ボールの製造を始める（ブランド名はH標準球）

ニッタクの前身となる「ハーター商会」創業

1960年代

1970年代

1980年代

1990年代

2000年代

2014年～

卓球ボールの製造に真摯に向き合うことで、信頼を生み出したこの年月。2020年、ニッタクは創業100周年を迎えます。